

20

19 8 7 6 5 4 3 2 1 10

JAPAN
TAMIA

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9



1246
3

江口傳氏

高尾船字文翁三冉

岩手山より谷戻猿とうり

附 矢武櫛豊陽岡

足八奥州南部越

花街乃放生會

其勇力ハ山鳥驛

附 矢心梁山金沙灘

足隣奥満又川

荒獅子達より大獲と換く

附 支那魯達が立臺山

其忠臣ハ黒龍神

荒獅子男之助重宗



却喜驛人
稱第一
至今喚微
百花王

柳子ノリ
蘿子モハ吹
牡丹ノ

高尾船主文乃三典

岩白山トシテ内猿トシ

曲亭馬琴著

鶴川金兵ハナリテモ馬方山ハシ御今モ佐野一多戸川のまよる
サクジマ、相生村の足与と鳥羽支那山久とせん。モ下総の方
去連ひのねらしくて通ひ所は必ずも丸く道と見下。船乃
寛上よりのまうのちどりぬ。こなは便り才とよせん。奥州アヒテ
アヒテ。谷蓋し猿の毛旅よ法眼もせぞとみす。がてへけふ
アヒテ。首よ鈴ぐれさりやど。奥州岩手山里よかアヒテ。
アヒテと連ひす。小室源流の湯とかれば。茅下り出羽乃

國主六。谷底より入野村。まだ西より未だ夜のつれとす。
あれと並んで里の風やれをす。床下は廻とうとぎれば。アリと
ゆきかと移りゆく。谷底までえぐるのゆゑと。碎よめうてえゆや
とさへ出た。二町の下。ゆやの草むら。アリと空き地を。おひ
き草木れ。谷底立草す。特例公石とひくは。近づくまもや。
草木とれ。草木と。薄い草木と。特例公石と。中葉生出まく。
草の白根出く。草木の根出く。アリヒタモ。山
で蟲うの風と。氣よよく。草木の根出。數年也。文の事邊と
草て。特例公石と。蟲うの根出。山の事邊と。

まを死んで。もとが日暮世へ廻りる。谷筋の里を出でて。だに二丁
引ひふ。さの下の後の夜のはと割らすん書く。自くみつぱく。邊で是を
墨をうけ。則ち近道をとて復かく。まよひ旅人と害をば。今
まと鐵の橋を年未だ三月。ニキノ人の力傳せや。ばよと
ひそ。そのわれ材か。あつてそ哉ことを紡ふ。と書
かう。谷筋あざれしのゆやうの様子。とて。夢とあ。
はのひをとどまると傍りぬ。夜の風。夜の月。月の光
と。月の聲。月の澤。月の闇。月の流。月の波。月の波。月の波。
ほとすんめ。谷筋をひくと。臺灣の山をなぐ。さす

山下。みゆをあそび。みゆ。みゆの草また。みゆの草また
解く。じとまひじとまひ。臺灣から。金木丸を櫻聲の邊。先
まよひ。ひどれぞと。ひどれぞと。金木丸をそびき。臺灣
狂猿。金木丸と。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。
えも。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。
する。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。
おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。
おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。おとづれと。

日暮の眼。勝月の顎化と勝立。谷巣とともとす。野郎アリ。
谷巣とまを乞う。もあら。野井甘く。空腹と。もどかしいと。そ
ぞう。ねの火と。浦はえ。かの狼へ。向。狼へもよろい。吼く。
谷巣と延うる。谷巣がひく雷よ。やうひく。まき。まき。まき。
玉手乃研。十手の。がまく。力口。アヘ。十倍。さく。ひく。ひく。
とあつて。狼の。じうよ。狼。谷巣と延うる。ゆく。び。ひ。ひ。
見ゆ。かの。とくする。とく。とく。元狼。とく。とく。とく。とく。
狼。も。食。今。食。食。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
狼。も。食。今。食。食。とく。とく。とく。とく。とく。とく。とく。
毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。毛氣。

歌。谷巣。遠。さと。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
眼。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
種。と。種。と。種。と。種。と。種。と。種。と。種。と。種。と。種。と。
川。村。か。ね。の。狼。と。狼。と。狼。と。狼。と。狼。と。狼。と。
い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。い。
野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。野。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
狼。の。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。と。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。

寅の朝。あさと。まく。眼と空と。是と。眞と。ば。狼の。ご
と。あ。う。ち。う。な。と。う。る。と。う。る。空。父の。櫛。狼の。は。と。あ。
と。の。櫛。へ。き。あ。て。か。の。角。櫛。あ。り。櫛。父。食。山。と。櫛。て
あ。に。と。あ。な。と。い。あ。櫛。の。次。と。櫛。と。う。だ。父。食。櫛。
す。そ。櫛。金。と。櫛。狼。と。う。だ。父。食。櫛。と。う。だ。父。食。
う。と。櫛。父。と。櫛。狼。と。う。だ。父。食。櫛。と。う。だ。父。食。
う。と。櫛。父。と。櫛。狼。と。う。だ。父。食。櫛。と。う。だ。父。食。
う。と。櫛。父。と。櫛。狼。と。う。だ。父。食。櫛。と。う。だ。父。食。
う。と。櫛。父。と。櫛。狼。と。う。だ。父。食。櫛。と。う。だ。父。食。

の金をあせ候事傳ひる。空きまく。近^カの事だ
かくは草く。物すらうんぬ。がく皮取^{ハシ}るから乃
は耳^{アシ}。かくあまをあゆの割^{ハサ}り。そよのやまのあつ毛
がめ^ミ。かくもひ。生^{ハシ}かわ松^{マツ}と^{ハシ}て。店^{ヤシ}が谷^{タニ}が勇^{ヨウ}
爾^{シテ}かれり。みの樹^{シキ}の立^{タチ}あさ。うすめ^{スム}と^{ハシ}れ
花街^{カイジ}乃^{ハシ}の草^{ハシ}金^{カネ}の家^{ヤシ}。小^{ハシ}板^{ハシ}と^{ハシ}放^{ハシ}と
利^{ハシ}害^{ハシ}取^{ハシ}る。うしろかくと^{ハシ}立^{タチ}て。花^{ハシ}の聲^{ハシ}。深^{ハシ}い
寒^{ヤモリ}の林^{ハシ}を^{ハシ}も。高^{ハシ}尾^{ハシ}と^{ハシ}の^{ハシ}御^{ハシ}所^{ハシ}。御^{ハシ}通^{ハシ}い
ゆき。高^{ハシ}尾^{ハシ}を^{ハシ}も。高^{ハシ}尾^{ハシ}を^{ハシ}も。高^{ハシ}尾^{ハシ}を^{ハシ}も。

金をば伏よきて。おまの館内。食事。船ふを。室。御
紫ね。手。臂ひかり。と。えれ。舟も。けど。船の下。船。や。三。室。と
あ。ぬ。桂の。酒。香。山。雪。の。月。銀。鬼。と。公。天。毛。
毛。酒。香。と。神。の。舟。鬼。と。公。天。毛。也。也。
也。也。と。も。又。や。香。の。舟。と。あ。ぎ。け。龍。衣。う。毛。と。也。也。
被。毛。香。の。酒。香。と。也。(ある。も。毛。國。酒。の。大。と。毛。國。酒。也。
也。也。と。も。又。御。の。あ。大。鬼。萬。船。(下。あ。大。國。の。鬼。
也。也。の。酒。香。と。あ。大。國。の。鬼。也。也。
也。也。の。酒。香。と。あ。大。國。の。鬼。也。也。

らを難む事無く富む所の時々もあらずと
す。いはれども余はめまき也。結局のところ是
なる。益善やう。幸運をもつてか。熟達して
外を事にあつてはとうござむ事。必ず此の御
神。財政と傍へて、財政と傍へて。幸運をもつてか。
世乃事へ。梓の如き。を取る所凡て有
は滿ふ。ある。船。船。舟。氣。氣。舟。わざと
も莫大と見え。また。がむ。我。我。氣。あゆう。と。佐。佐。
馬。馬。勢。勢。そ。圓。圓。氣。氣。もゆう。かく。家。家。いれた。いれ。居。居。

身の内があつた。身をよみがへて、経のあ廢まきよ。今こそせむ
ありどもひい。家のもかやすと、ハシのうひ
さともびが、皮肉えのの風ふうをひぶ。身代そとりとおはな。谷たに
やのまなたか。まのまうやのせ。ねこは上じょうりく。まひき毛の
骨ほね。道みちをらうきよ。まよ。身みまよ。まよつるまよつるの
鶴つる。身みと身みの解わかり。まよひく。身みと身みの解わかり。
舟ふねと舟ふねの渡わたり。身みと身みの解わかり。身みと身みの解わかり。
身みと身みの解わかり。身みと身みの解わかり。身みと身みの解わかり。

とある。うきせへあらへのちまごどや。うひりよのあらの
かみへ達セ。何能そのものほりとや。あくもあく
とてなことあらぬ。うひもあらのかまに因シ。うひ庵と
寔に沖乃方。ほねととやめ行き。

荒神よ達氣より櫻とゆ

報も友於よりの云。御お故障よゆく。とふげやどむけ
あさうあらゆ。高腰のこち君を有りた。あ年ハ嚴より
き。山川資と定あり。是ぞ二代の官伏威。ころハ自宗
つよ。復き浪主鷹がとあふす。ばやどの山乳もじと俊

の母の追き。うげに歎いた地を。すもみす川もり。ナ町の
築山の事。馬鹿の風ようがづき。義も世ももうのれ。
君をすやすやの風情。在るをかわす。ひ鶴や鶴や
をかは。獲物と竹よアサ。ほきだんあめなり。うつぐり。壁
雀居はまうの鳥とね。後の家の積よからむれば。店あるの
塗立とひき様よ。掉よとあせれど。よよのえあひ。す
び肩よ多くうれ。猪よもむどうり。近づるから荒神よ
男を塗と達のきてやうへ。ゆ役に早とちる。おとお景。いぢ
子本と根とさう。鳴ととく。アドと。おもと。後でとさ。

山室癡麻。是より便り。とてまくらの眼だ。政圖
せうきの爲を。抱手す。ものめり。俄よと肩をびく
びき。身かようやあらう。かまの山腹らへ。萬葉れば。狼と
山と。狼と。山と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。
是より。山と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。
狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。
狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。
狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。
狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。狼と。

美春。あそび。はるひ。まこと。人の。とく。殊ふ。櫻木。に。方。む。ち。ま。べ。連歌
なる。根世。の。手。あら。さ。か。や。手。に。手。あ。下。實。八。引。の。手。歌。山
はあく。ゆく。と。か。ぐ。の。よ。ん。や。ち。て。う。の。の。手。な。と。ま。よ。う。父。歌
公。お。毛。毛。と。り。う。け。せ。ゆ。て。男。と。あ。あ。毛。う。う。毛。へ。櫻。う。う
あ。て。山。歌。ま。と。と。あ。す。と。も。う。是。す。櫻。う。う。母。の。む。ひ。ぞ
や。と。あ。く。と。な。が。下。る。家。に。雀。つ。れ。き。ひ。ゆ。か。し。歌。う。う
歌。う。の。神。あ。じ。が。づ。ぐ。よ。う。歌。う。さん。ふ。も。あ。ま。う。う。流。う
歌。う。と。み。に。も。そ。歌。う。山。と。ば。う。歌。う。よ。う。と。だ。ま。う。う
う。歌。う。と。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う

物と。のれ切妻をうづきあり。彼アミハキアリ。城は意稀る
が接。力い切妻のひま。刀かゝて。ほがみ室乃名城。雲
寄と名付。至家の大屋と切妻びけ。室因あす。丁度
運転の神。が多幸。御宿す。が。勇力。堅。が。天の助。之
切妻。生きた。うえ。まく。が。ひか。と。安良ひそ。余
あび。ひそ。安良の。神。が。安良を。ねれ。人間乃
れも。あく。葬つ。まし。ひそ。

山
桂



